

## 令和5年度 地域情報化アドバイザープロフィール

ふりがな	きのした かつみ		
氏名	木下 克己		
所属・役職	特定非営利活動法人情報化連携推進機構副代表 一般社団法人 GIS 支援センター理事 国際航業(株)公共コンサルタント事業部西日本支社顧問		
活動拠点	近畿		
略歴	東京貿易(株)でX線測定機等の輸入営業業務に従事。高槻市役所でメインフレームによる住民情報システム開発業務、コミュニティ FM・CATV 会社設立など地域情報化業務及び統合型 GIS 業務に従事。GIOとして GIS の全庁的導入業務(30事業)に従事後、高槻市 GIO 補佐官として電子自治体の推進に従事。大津市 GIO 補佐官として基幹系システム再構築、EBPM、地域分析、テレワーク、RPA、AI 及びデジタルファーストなどデジタルシティの推進並びにびわ湖 FreeWi-Fi、オープンデータなど地域情報化業務に従事。ICAISでDX、スマート自治体、スマートシティ及び標準システム等に関する研究会講演会等の開催など調査啓蒙活動に従事。GIS-SCで、統合型 GIS 構築及び道路占用協議に関する業務オンライン化の推進に従事。国際航業(株)で人流データ及びDX関連業務に従事。		
地域情報化の 専門分野・技術	下記5分野での事業導入に向けた取り組み ① オープンデータ・オープンガバメントに関すること ② データ分析や EBPM に関すること ③ 統合型 GIS に関すること ④ Free Wi-Fi 事業に関すること ⑤ 基幹系システム再構築に関すること ⑥ 情報化戦略策定に関すること (DX・スマートシティ・スマート自治体)		
専門分野	オープンデータ EBPM (エビデンスに基づく政策立案) スマートシティ		
自治体向けメッセージ	オープンデータによるオープンガバメントの実践、データサイエンティストを活用した地域分析と EBPM の導入及びスマートシティなどを目指す自治体に協力できればと思っています。		
関連サイト	<a href="http://www.icaiss.or.jp">http://www.icaiss.or.jp</a> <a href="https://home.gis-sc.or.jp">https://home.gis-sc.or.jp</a>		
地域情報化に関する実績	これまでの 経験業務・ 研究活動	主たる経験業務は、住民情報系、内部情報系システムの開発、統合型 GIS の導入及び基幹系システムの再構築ですが、地域情報化に関する活動は次のとおりです。 《高槻市》情報化社会研究会：委員 近畿 CATV 事業化研究会高槻部会：事務局運営、CATV 研究会：事務局運営	

		<p>コミュニティ FM 研究会：事務局運営  政府3省 GIS モデル地区実証実験（総務省・経産省・国土交通省）：委員  ワイヤレス GIS フォーラム（研究会）：幹事、電子地図の会&lt;KIIS &gt;：幹事  GIS 大縮尺空間データ官民共有化推進協議会：支援グループ  大阪安全・安心まちづくり支援 ICT 活用協議会：特幹  リージョナルセキュリティ研究会&lt;産官学&gt;：発起人・事務局運営  SHF 帯地上デジタル放送配信システム調査研究会：実証実験運営  《大津市》びわ湖 FreeWi-Fi 4市推進協議会：会長  ビッグデータ・オープンデータ「e-kansai レポート」委員会&lt;KIIS&gt;：委員  滋賀県無料 Wi-Fi 整備促進協議会：幹事  滋賀県地域情報化推進会議データ利活用 WG：主査  日経 BP「政令市中核市特別区 GIO フォーラム」：コンテンツ委員  《ICAIS》スマート自治体都道府県補完モデルに関する調査研究会：委員長</p>
<p>これまでに  関与した地  域情報化に  関するプロ  ジェクト</p>		<p>他団体を含めた実務プロジェクト（庁内プロジェクトは除く）  ・企業、商工会議所等と共同出資による地域 CATV 会社設立及びコミュニティ FM 会社設立プロジェクト  ・地域 CATV 会社5社（関係6市）におけるインターネットプロバイダー事業の関西マルチメディアへの一本化業務及びジェイコム傘下持ち株会社（ジェイコムウエスト）への株式と事業移行プロジェクト  ・4市 FreeWi-Fi 調達プロジェクト  ・オープンデータイベントプロジェクト  シビックテック協力 PJ（データポータルサイト構築の調査活動）：2回  シビックテック PJ（UDC・国際オープンデータデー）  Code For Shiga/Biwako、滋賀大学データサイエンス学部、立命館大学歴史都市防災研究所、滋賀銀行、滋賀県、京都市、びわこビジターズビューロ及び大津商工会議所等と共催によるイベント主催：8回  ・データ分析関連プロジェクト（連携協定による）  匿名加工/リスク評価ツール検証 PJ：富士通・富士通研究所  「AI」によるいじめ分析 PJ：日立システムズ・京都滋賀兵庫の3教育大学  ・EBPM 導入 PJ：滋賀大学データサイエンス学部・富士通・日本電気他</p>